

# 5 小学校における金融教育 (3) 指導計画例・家庭科

安心・安全な生活を目指して、もしも（万が一）の時への備えについて考えよう  
—もしも（万が一）の時への備えとして、保険や貯蓄の活用について理解する—

(総授業時数：4時間)

## 実施学年、教科等

第5学年～第6学年 家庭科

## 題材の目標

- (1) ものや金銭の計画的で適切な使い方に関心をもつことができるようにする。
- (2) ものや金銭の使い方について考え、自分なりに工夫できるようにする。
- (3) ものや金銭を計画的かつ適切に使うために、情報を活用できるようにする。
- (4) もしも（万が一）の時への備えについて理解できるようにする。

## 学習の評価

- (1) ものや金銭の計画的な使い方や備え方に関心を持ち、ものや金銭を大切に、適切に使おうとしている。  
(授業での発言・ワークシート・ノート)
- (2) ものや金銭の計画的で適切な使い方や備え方への課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。  
(授業での発言・ワークシート・発表)
- (3) ものや金銭の計画的で適切な使い方や備え方についての情報を集め、整理することができる。  
(ワークシート・実践記録)
- (4) ものや金銭の計画的で適切な使い方から、もしもの時への備えとして保険や貯蓄について理解している。  
(ワークシート・自己評価)

## 展開の特色

- (1) 児童が社会人として健全に成長するためには、ものやお金を大切にすることを通して、お金や労働の価値を知り、限りあるものや金銭のより良い使い方について考え、身に付けていくことが必要である。そのため、子供たちの生活経験から、ものやお金のより良い使い方を考える学習をスタートする。
- (2) 次に、今、お金をどう使うのかと同様に、将来（これから）何に使うのかを考え、貯蓄することも「計画的に金銭を使うことに結び付くこと」として、考えを進める。使うことと貯めることは、ものや金銭の価値を知る上でどちらも同時に考えさせたい内容で、今どうするのかと将来（これから）どうするのかといった両面から、意思決定をする必要があることを学習させる。
- (3) そして、日常生活には様々な不測の事態があり、安全な行動を心がけるとともに、危険を回避する行動や備えについて考え、「今」生活を工夫できることと、「これから」生活を工夫できることについて、自分なりの考えをもたせる。なお、授業では、「不測の事態」を「もしも（万が一）の時のこと」、「前もって予測できないこと」、「思いがけないこと」などの言葉に置き換えて分かりやすく伝える。
- (4) さらに、自然災害や事故等に備えて、家庭生活や学校生活の様々な場面で、対応がとられていることに気付かせ、貯蓄以外に保険等もあることを理解し、計画的で適切な金銭の使い方として、将来に備えて自分の生活の中に、より良く取り入れていくことを考えさせる。

## 「学校における金融教育の年齢層別目標」の該当項目

\*記号については、P.32～45を参照。

Aーア・イ・エ、Cーア、Dーア

## 学習内容のキーワード

ものや金銭、計画的、安全、事故、災害、病気、不測の事態、備え、貯蓄、保険

1 金融教育のねじりと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に際して

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

## ●指導計画

時数	ねらい	●学習活動	・学習内容	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他(資料等)
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均的な生活に必要なお金の金額について知る。</li> <li>生活費は、家族の労働の対価である収入で賄われていることを知る。</li> <li>自分のお金の使い方について見直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭で使われているお金の細目について考え、一か月の生活費の内訳について考える。</li> <li>家族の一日の生活と自分の一日の生活の過ごし方を比べ、家族が労働をし、収入を得ていることに気付く。</li> <li>文房具等自分の身近な持ち物について見直す。必要性を考え計画的に購入しているか考える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆生活費について知る。</li> <li>◆お金は、家族の労働の対価で、限りあるものであることに気付く。</li> <li>◆自分の消費行動について振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★家庭のお金は家族のために、家賃・光熱費等様々な使われ方をしている、小遣いもその一部であることに気付かせる。</li> <li>★家庭のお金は、家族の労働によってもたらされることを知らせる。</li> <li>★文房具等共通している持ち物で、振り返りをさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一か月の生活費のお金(算数教材)を用意する。</li> <li>・振り返り用ワークシート</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品の選び方を知り、自分なりに工夫して買い物ができるようにする。</li> <li>今買えないもの、将来ほしいものを買うためには、貯蓄をすることが望ましいことに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●買い物について意思決定し、買い物についての自分なりの考え方について発表する。</li> <li>●金額が高いもの、今必要ではないが、将来必要になるものについて考える。</li> <li>●貯蓄の方法について知り、金銭の管理について理解を深める。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆買い物の仕方は価値観や生活の状況によって異なることに気付く。</li> <li>◆将来ほしいものや高価なものは、貯蓄によって買うことができることに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★必要性等によって意思決定していくことを理解させる。</li> <li>★余ったお金や使う予定のないお金の貯蓄、これから必要になるものに備えるための貯蓄について伝える。</li> <li>★計画的な金銭の使い方は、計画的な貯蓄にもつながることを知らせる。</li> <li>★時間があれば預貯金について触れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おかねのね」</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の一員として、家庭生活を送る上で、日常生活における危険の回避の仕方や、安全な生活ともや金銭の適切な使い方や備え方について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家族の一員として安全な生活について考える。</li> <li>●家庭や野外で自然災害や事故、病気などの“思いがけないこと・予測できないこと”(不測の事態)に遭遇した場合、治療や元に戻すための費用等、家計に与える影響について考えたり、調べたりして発表する。</li> <li>●意見交換を通して、望ましい生活態度や“思いがけないこと・予測できないこと”(不測の事態)から身を守るための人々の努力や工夫について知る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆家庭生活等日常生活の中で、起こる危険や身を守る方法を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★日常生活の様々な危険について考えさせ、身を守るための行動の仕方を知らせる。家族への影響についても触れる。</li> <li>★他人に損害を与える可能性を認識させ、安全な行動をすることの必要性を知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害・事故の写真</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
4 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものや金銭の計画的な使い方や備え方として、事故や災害、病気などの“思いがけないこと・予測できないこと”(不測の事態)に備える必要と方法を理解し、状況に応じて、自分なりの工夫について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前時の復習をする。</li> <li>●学校生活や家庭生活で取られている“もしもの時や万が一”(不測)の事態に備える方法を調べる。</li> <li>●自転車事故を例にして、けがをしたり、ものを壊したりするとお金が必要になることを理解する。</li> <li>●移動教室(修学旅行)での保険、自転車保険、火災保険、地震保険、学資保険等身近な保険について活用の仕方を理解する。</li> <li>●貯蓄や保険は、ものや金銭の計画的な使い方や備え方の一つになることを理解する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自転車の乗り方で自分がけがをしたり、相手をけがさせたり、ものを壊したりするとお金を支払わなければいけないことに気付く。</li> <li>◆事故や災害、不測の事態に備えるために、貯蓄や保険について理解する。</li> <li>◆「今」や「これから」の生活のために、計画的な金銭の使い方や備え方の工夫として、貯蓄や保険の活用を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★前時を振り返り、子供たちが関わる事故や災害等について、自転車事故を例に考えさせ、事故等を起こすとお金が必要になることを理解させる。</li> <li>★家庭生活・学校生活の中での保険について調べさせ、気が付かないうちにいろいろな保険を利用して生活していることに気付かせる。</li> <li>★状況に応じて貯蓄や保険を使い分けることも、金銭の計画的な使い方や備え方につながることを考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・保険の資料等(日本損害保険協会『そんぼのホン』、生命保険文化センター『生活設計とリスク管理』等)</li> </ul>

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

**本時の目標**  
 ア：ものや金銭の計画的な使い方として、予期せぬ（万が一）事に備えて貯蓄や保険があることを理解する。（家庭生活についての知識・理解）  
 イ：状況に応じて、自分なりにできる工夫を考える。（生活を創意工夫する能力）

●本時の展開

	●学習活動	・学習内容	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前時の学習を思い出し、日常生活で起こる“思いがけないこと・予測できないこと”（不測の事態）を考え発表する。</li> <li>* 家庭生活、登校、下校、学校生活、旅行、スポーツ等野外での活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な生活に気を付けていても、予期せぬ事故等が起こったり、病気になったりすることに気付く。</li> <li>・子供たちの生活経験の中で、予想される場面について考える（けが、病気、ものが壊れる、災害等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事故や災害時に、どんなことが必要になるかを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★事故や災害に巻き込まれた時のことを想像させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故や災害の資料</li> </ul>
展開①	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事故やけが等、予期せぬ出来事があった時、家族の一員として、どんなことが困るのか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予期せぬ事故が起こったり、災害に巻き込まれたりした時の家族や家庭生活への影響を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆不測の事態が起こった時は、家族や家庭生活に金銭的にも影響を及ぼすことを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★安全な生活が第一だが、予期せぬ事故や災害等（不測の事態）が起こった時は家庭生活に大きく影響することを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul>
展開②	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事前に調べてきた“思いがけないこと・予測できないこと”（不測の事態）への備えとして、家庭でとられている方法について話し合う。</li> <li>●不測の事態に備える方法について、グループの意見をまとめて発表する。</li> <li>* 貯蓄・自転車保険・自動車保険・火災保険・地震保険・旅行保険等</li> <li>●自転車での事故を例に、自転車保険について考える。</li> <li>●学校生活の中での補償を伴う保険や、将来に備えた保障のある保険について教師から話を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に家族からのインタビューや図書館の本、インターネット等で調べた内容について、4人程度のグループで意見交換をする。</li> <li>・全体で発表し、各班の内容について共有する。</li> <li>・ほぼ全員が乗車の経験のある自転車で、遭遇した事故等の経験から、保険の補償との関係を考える。</li> <li>・子供たちの関係している保険の種類と内容について知る。</li> <li>* 移動教室の旅行保険、PTA活動等の傷害保険、必要な時に支払われる学資保険、けが・入院等で支払われる保険</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆貯蓄、災害に備えての地震保険・火災保険、不測の事故に備えての自動車保険等、家族が安心・安全な家庭生活を維持していくために利用している方法について調べる。</li> <li>◆友達との話し合いや発表内容から、保険や貯蓄の利用の仕方について理解する。</li> <li>◆自転車保険の補償について知る。</li> <li>◆学校生活で掛けられる補償のある保険、将来に備えて、また、けが等のための保障のある保険の内容について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★CM等で耳にしている保険が、家庭で実際にどのような意義や目的で使われているかについて調べさせる。</li> <li>★友達と話し合い意見を聞いたり、発表をしたりすることで、家庭ではいろいろな方法で備えていることに気付かせる。</li> <li>★事故が起こった時に必要な費用と掛け金、補償内容について理解させる。</li> <li>★災害、自動車、学資保険等それぞれの違いに気付かせる。</li> <li>★状況、補償、保障、掛け金等についても簡単に知らせる。保険の補償は大きい、掛け金が戻ってこないなど、選択（意思決定）の際の留意点を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の状況は様々なので、家庭で聞き取ってもよいし、本やインターネット等で、“思いがけないこと・予測できないこと”（不測の事態）に備える方法として、調べてもよいことを伝える。</li> <li>・発表内容を掲示する。</li> <li>・パワーポイント等で事故内容と補償が分かりやすく対比できるように資料にまとめる。</li> <li>・保険のパンフレットから、簡単に保険の補償・保障内容等を確認する。</li> </ul>
展開③	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ものや金銭の計画的な使い方として考えられる、貯蓄や保険の特徴についてまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれに共通する良さや、異なる良さについてワークシートにまとめる。</li> <li>・金銭の計画的な使い方や備え方には、貯蓄や保険という方法があることを知り、状況に応じて、より良い方法を意思決定することの大切さに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆貯蓄も保険も金銭の計画的で適切な使い方になることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★どちらがいいのかを考えさせるのではなく、それぞれ状況に応じて使い分けることが、ものや金銭を大切に、計画的で、適切に使うことになることに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本時の感想等をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の授業の感想を記入し、これからの自分の生活への活かし方を考える。</li> <li>・ものや金銭を計画的に使ったり備えたりするためには、状況に応じて、適切に意思決定することが必要であることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ものや金銭の計画的な使い方として、状況に応じて、自分なりの工夫（意思決定のための情報収集等）ができるようになることの大切さが分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★貯蓄や保険等は、状況に応じたものや金銭の計画的な使い方結び付くことを知らせる。</li> </ul>	

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

## ●教材・資料等 (本時の授業で用いる教材や資料、ワークシート等)

## ものや金銭の計画的な使い方や備え方を考えよう

年 組 名前

1 あなたが考える日常生活で起こる事故や災害、病気などについて書きましょう。

家庭生活	学校・旅行・野外活動・スポーツ等

2 今の生活や、これから (将来) の生活に備えるために、どんな方法が考えられますか。

事故や災害、病気等に備えて	これから (将来) に備えて

3 貯蓄や保険についてあなたの考えを書きましょう。

貯 蓄	保 険

4 今日の授業でわかったこと、これからの自分の生活に役立てたいことを書きましょう。

--